

令和8年10月号

鹿浜こども園だより



令和8年10月1日
足立区立鹿浜こども園
第一園舎 Tel.3855-4447
足立区鹿浜5-25-11
第二園舎 Tel.3897-8515
足立区鹿浜5-24-4-101
園長 澤田 好

災害への備えを、今一度

台風25号により甚大な被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、身近な方が被害に遭われ、心配な日々を過ごされているご家庭もあることと思います。一日も早く穏やかな日常が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。

近年は、台風や大雨、地震など、いつ、どこで大きな災害が起こるか分からない状況が続いています。災害が起きたとき、子どもたちの命を守るためには、日頃からの備えと、家庭と園が共通の認識をもっておくことが大切です。この機会に、ご家庭でも避難場所や連絡方法、非常時に必要なものなどについて、お子さんと一緒に確認してみてください。

また、園では災害発生時の対応や、保護者の皆様への連絡、引き渡し等について「園のしおり」に記載しています。「いざというときに、どうするのか」について、今一度、園のしおりをご確認くださいようお願いいたします。災害への備えは、特別なことをするのではなく、「もしものとき」を家族で考えておくことから始まります。

子どもたちが安心して園生活を送ることができるよう、園とご家庭が力を合わせ、日頃から安全への意識を高めていきたいと思います。

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから

心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱい子ども」
を育てる

「運動会は、子どもたちの育ちを感じる日」

秋の訪れとともに、子どもたちは戸外で体を動かすことを楽しみ、友達と一緒に遊ぶ姿も一段と増えてきました。運動会が近づくと、「運動会の練習」という言葉を耳にすることが多くなります。しかし、本園では、運動会のために繰り返し練習をして、立派な演技や競技をお見せすることを目的とはしていません。子どもたちにとって大切なのは、日々の遊びの中で、思いきり走ったり、跳んだり、登ったり、くぐったり、友達と一緒に遊んだりする経験を積み重ねることです。その中で、少しずつ体の使い方が巧みになり、「もっとやってみたい」という気持ちが生まれます。そして、友達の姿を見て刺激を受けたり、応援したり、順番を待ったり、力を合わせたりする中で、友達への意識も育っていきます。

運動会は、そうした日々の遊びの中で育ってきた子どもたちの姿を、保護者の皆様に見ていただく機会だと考えています。「去年より速く走れるようになったね」「こんな動きができるようになったんだね」「友達と一緒に楽しんでいるね」「一人ひとり、自分なりに頑張っているね」そんなふうに、結果や完成された姿だけではなく、そこに至るまでの子どもたちの育ちに目を向けていただけたら嬉しく思います。

子どもたちは、練習したことを上手に発表するために成長しているのではなく、毎日の「楽しい！」という遊びの積み重ねの中で、心も体も育っています。運動会当日は、子どもたちの「できた！」とともに、「やってみよう」「友達と一緒に楽しい」という気持ちも、ぜひ感じ取ってください。

一人ひとりの今の姿を大切にしながら、子どもたちが心から体を動かすことを楽しめる運動会をつくっていききたいと思います。

園長 澤田 好

【行事予定】

10月		
1日	木	都民の日（短時間保育児休日） 内科検診①②③
3日	土	運動会③④⑤
5日	月	運動会振替休日（短時間保育児） （3日に実施した場合）
8日	木	親子絵本読み語りデー
9日	金	安全指導
10日	土	運動会雨天時予備日
13日	火	運動会振替休日予備日（短時間保育児） （10日に実施した場合）
14日	水	身体測定 避難訓練（第一）
15日	木	誕生日会
16日	金	園内研修 短時間保育児 13:00 降園
17日	土	生命（いのち）の安全教育 第一園舎ホール 14:00～15:00
20日	火	幼保小連携公開保育
21日	水	避難訓練（第二）
22日	木	開園記念日（短時間保育児休日）
29日	木	ぶんぶく劇場

11月		
4日	水	安全指導
5日	木	内科検診④⑤ お米の出前教室④⑤
17日	火	身体測定
18日	水	避難訓練（消防署）
19日	木	誕生日会 親子絵本読み語りデー
20日	金	園内研修 短時間保育児 13:00 降園
28日	土	生活発表会③④⑤
30日	月	生活発表会振替休日（短時間保育児）

★ぶんぶく劇場★

『おかあさんの人形劇ぶんぶく』の方々がいらして、人形劇を披露していただきます。

★親子絵本読み語りデー★

親子で絵本を楽しめるよう、職員が読み語りを行います。下記の時間に合わせてお迎えに来ていただき、リフレッシュしてください。

10月8日（木）

①14:00～（第一園舎短時間のご家庭向け）

②16:15～（両園舎共通の開催時間）

③17:45～（両園舎共通の開催時間）

11月19日（木）

①14:00～（第一園舎短時間のご家庭向け）

②16:15～（両園舎共通の開催時間）

③17:45～（両園舎共通の開催時間）

★内科検診★

10月15日（第一園舎）に予定していましたが、11月5日に延期となりました。

★生命（いのち）の安全教育★

東京未来大学 こども心理学部
専任講師 鳥海弘子先生から、プライベートゾーンや生命（いのち）の大切さについてお話していただきます。

子ども向け、保護者向けにプログラムを準備しております。家族とこども園が同じ認識のもと、子どもたちを支えていけるよう、多くの方の参加をお待ちしております。

★10月19日（月） 開園記念日給食★

こども園の開園記念日（10月22日）を祝うメニューが出ます。



<ひよこ組>

「あっち」「くるま」「ごはん」と毎日少しずつ言葉が増え、おしゃべりのかわいい声が聞こえるようになってきました。友達の名前を覚えて呼びかけてみたり、「おい！」と保育者を呼んだりすることもあります。知っている言葉で気持ちを伝えようとしているので、その言葉をよく聴き、前後の状況や表情、しぐさから保育者もその意味を理解しています。伝わった、わかってもらえたという時の「うん！」と頷く笑顔はとても可愛いです。

今後も、子どもたちの言葉の中に隠れた思いを受け止め、応答的なかわりを丁寧にしていきます。



ねらい

- ・体操やおいかっこなど、体を動かす遊びをたくさん楽しみます。
- ・一人一人の気持ちを大切に受け止め、思いが伝わる嬉しさを感じられるようにします。

<りす組>

空き箱や身近な素材を使って製作あそびをする中で、望遠鏡を作りました。それを手にしながら虫探しに行き探索していると、今度は「そうだ、どんぐりを探しにいこうよ」と言い、園庭を周りました。すると、他の子どもたちも参加しみんなで一緒にどんぐり探しを楽しみました。側にいる友達に興味をもち、同じことをして遊ぶことが楽しくなってきました。

今月もたくさん体を動かして遊んだり、友達と触れ合って遊ぶことを楽しんだりしていきます。



ねらい

- ・かけっこや追いかっこ、滑り台、太鼓橋などで体を動かして遊びを楽しんでいきます。
- ・自分の気持ちを言葉や身振り手振りで表現できるよう、一人一人の思いを受け止めていきます。

<うさぎ組>

体の使い方も上手になってきた子どもたちは、巧技台の少し高い段差や傾斜も自分で渡り方を試しながら進んでいます。友達が挑戦している姿を見て「やってみたい！」「できた！」の自信につながり、「これもやってみる！」の意欲が出てきています。

走る力もよりついてきて「よーいどん、しょう！」と保育者や友達を誘って走ったり、「ばななおにやりたーい！」と鬼ごっこを楽しんだりしています。

さまざまな遊びを通し自分でできることを、自信をもって取り組み、全身を使って遊ぶ楽しさを感じることができるようになっていきます。



ねらい

- ・友達や保育者と一緒に、全身を使って遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・着替えや身支度を自分で行い、できた喜びを感じられるようにしていきます。

<ぱんだ・こあら組>

ホールや園庭にハシゴや一本橋を、子どもたちが少し挑戦するとできる高さに調節しながら遊んでいます。「ちょっと難しい、でもできた！」と何度も挑戦しながら遊びこんでいます。子どもたちが挑戦したくなる環境を作りながら、達成感を感じられるようにしています。

また、友だちが頑張っている姿を見て自然と「がんばれがんばれ」と励ます声が聞こえてきたり、サークルタイムでは友だちの話を聞いてから自分の話をしたりと友だちのことも考えて関わる姿が見られます。引き続き、ごっこ遊びなどやり取りを楽しむ遊びができるように環境を整えていきます。



腕でぐって押したらできたよ！



がんばれがんばれ！

ねらい

- ・自分でできたことに喜びや達成感を感じることができるようしていきます。
- ・友だちと一緒に遊んだり、思いを伝え合ったりする中で、友だちと関わる楽しさを感じられるようにしていきます。

<ぞう・きりん組>

「リレーやろうよ！」「大縄、一緒にやってみない？」と友達と集い、一緒に身体を動かすことを楽しんでいます。ときには思いがぶつかり合うこともあります。互いの気持ちを伝え合い、「こうしてみたらいいんじゃない？」「こうやると面白いね！」と、楽しく遊ぶための方法や工夫を、子どもたち自身で考える場面も増えてきました。繰り返し遊ぶ中で、自分たちで遊びを作り上げていく経験を積んでいます。

今後も、友達と一緒に遊んだり過ごしたりする中で、友達と一緒に考え、友達の良さを認め合う気持ちを育んでいきます。



腕をいっぱい振って走るといいよ！

7人だと跳べなかったから次は4人で跳んでみたいんだ。どうかな？



ねらい

- ・発見や気づき、面白さを友達と共有して遊ぶ中で、友達の良さを認め合いながら、日々が充実できるようにしていきます。
- ・さまざまな遊びに挑戦することで、自信につなげていきます。

<かぜのじかん>

日々の運動遊びを、かぜの時間も引き続き楽しんでいます。体を動かすことを楽しむ中で、「もっとやってみたい！」という気持ちが広がり、友達と一緒に遊び方を考えたり、繰り返し挑戦したりする姿が見られています。そんな5歳児の楽しそうな姿を見て、4歳児も興味をもち、真似をして遊び始めるなど、自然と異年齢での関わりも生まれています。

これからも、子どもたちの「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、友達と一緒に体を動かす楽しさや、異年齢で関わる楽しさを味わえるようにしていきます。



飛ば人と回す人を交代してやってみよう！



1人で飛んでみたい！

ねらい

- ・戸外あそびを十分に楽しみながら、必要な準備や片付けを進んで行えるようにしていきます。
- ・年下の子に教えたり、年上の子に関心をもったり、積極的に関わり合えるようにしていきます。